

若年正社員の選考採用の際に重視した点

人手不足感が強まり、中小企業でも求人ニーズが高まりをみせています。ここでは平成26年9月に厚生労働省から発表された「平成25年若年者雇用実態調査の概況」から、若年正社員の採用や育成方針に関するデータをみていきます。

～若年正社員の選考採用の際に重視した点(複数回答)～ (単位:%)

重視した点	中途採用者	新規学卒者
学歴・経歴	24.2	26.0
➡ 職業意識、勤労意欲、チャレンジ精神	74.7	82.9
柔軟な発想	18.4	26.1
➡ マナー、社会常識	61.8	63.8
➡ 組織への適応性	53.6	54.0
業務に役立つ専門知識、技能(資格、免許)	36.9	33.4
業務に役立つ職業経験	37.9	13.1
➡ コミュニケーション能力	55.0	67.0
順応さ、会社への忠誠心	24.0	25.5
体力、ストレス耐性	29.9	35.3
その他	4.8	6.8

* 新規学卒者(以下、新卒)、中途採用者(以下、中途)とも最も割合が高かったのが「職業意識・勤労意欲・チャレンジ精神」でした。次いで重視する事業所割合が高いのは、新卒をみると、「コミュニケーション能力」、「マナー・社会常識」、「組織への適応性」となっており、この4項目が50%以上になりました。

* 同じく中途では「マナー・社会常識」、「コミュニケーション能力」、「組織への適応性」となりました。新卒、中途ともに半数以上の事業所が重視した点は割合の差こそあれ、上述の4つとなりました。

●専門性は重視しない?

新卒はともかく中途であれば、若年正社員といっても即戦力を期待するケースは少ないと思われます。しかしこの結果をみる限り、「業務に役立つ専門知識や技能(資格・免許や語学力)」、「業務に役立つ職業経験・訓練経験」は、いずれも重視する事業所割合が40%に満たない結果になりました。

●長期的な育成を考える事業所が多い

上記調査結果によると、実際に若年正社員の育成方針として「長期的な教育訓練等で人材を育成」と回答した割合は、新卒で54.2%、中途でも40.1%となっています。逆に「短期的に研修等で人材を育成する」とした回答は新卒で18.7%、中途で24.9%と低くなっています。長期的なビジョンで人材育成を考えている事業所が多いことから、採用の段階では専門性を重視するところが少なくなっていることがわかります。

